

北海道内での買い物弱者対策 及び流通対策の取組事例集



平成27年3月

北海道経済部

はじめに

道内では、人口減少・高齢化が進む中、商店数の減少、店舗立地の郊外化、路線バスなどの公共交通サービスの縮小などにより、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている人々、いわゆる「買い物弱者」の存在が問題となっています。

地域においては、商店街やNPO、民間企業などが買い物支援サービスを実施してきていますが、採算の確保等の面で課題を抱えている事例も多く、効率よくサービスを継続するためには、地域の実情に応じて、行政と民間の連携による取組や複合的な支援サービスを検討する必要があります。

農林水産政策研究所の「食料品アクセスマップ」調査によると、車をもたない者や高齢者などの「買い物弱者」が、道内では1割に達する状況となっています。

今後、人口減少・高齢化が更に進み、地域内の消費の減少などに伴い、「買い物弱者」の増加が懸念されることから、地域の実情に応じて、こうした買い物環境の変化への的確な対応が求められています。

こうした中、この事例集は、道内各地域で行われている買い物弱者対策や流通対策の主な取組を「移動販売、宅配、朝市、買い物代行、交通支援、流通対策」の分類で取りまとめたもので、今後、こうした対策を実施しようと考えられている市町村及び各種団体や事業者の方々の参考としていただくと幸いです。

平成27年 3月

北海道経済部経営支援局中小企業課

目 次

1 移動販売

- ① 「おまかせ便カケル」
【生活協同組合コープさっぽろ】（全道エリア）・・・ 1
- ② 「出前商店街」 【標茶町商工会】（釧路総合振興局管内）・・・ 2
- ③ 「どこでもカウモン号」【標津町商工会】（根室振興局管内）・・・ 3

2 宅 配

- ① 「セブンミール」
【(株)セブン-イレブン・ジャパン】（7-11店舗周辺）・・・ 4
- ② 「おなじみ屋」
【浦河町中心市街地活性化協議会】（日高振興局管内）・・・ 5
- ③ 「買い物支援事業」 【鷹栖町】（上川総合振興局管内）・・・ 6
- ④ 「宅愛サービスふれあい便の会」
【枝幸町商工会】（宗谷総合振興局管内）・・・ 7
- ⑤ 「スマッピー宅配・便利サービス」【合同会社びほろ宅配・
便利サービスプロジェクト】（オホーツク総合振興局管内）・・・ 8

3 朝 市

- ① 「いしやま朝市」
【いしやま朝市実行委員会】（石狩振興局管内札幌市南区）・・・ 9

4 買い物代行

- ① デジタルタッチペンを活用した買い物代行
【黒松内町】（後志総合振興局管内）・・・ 10

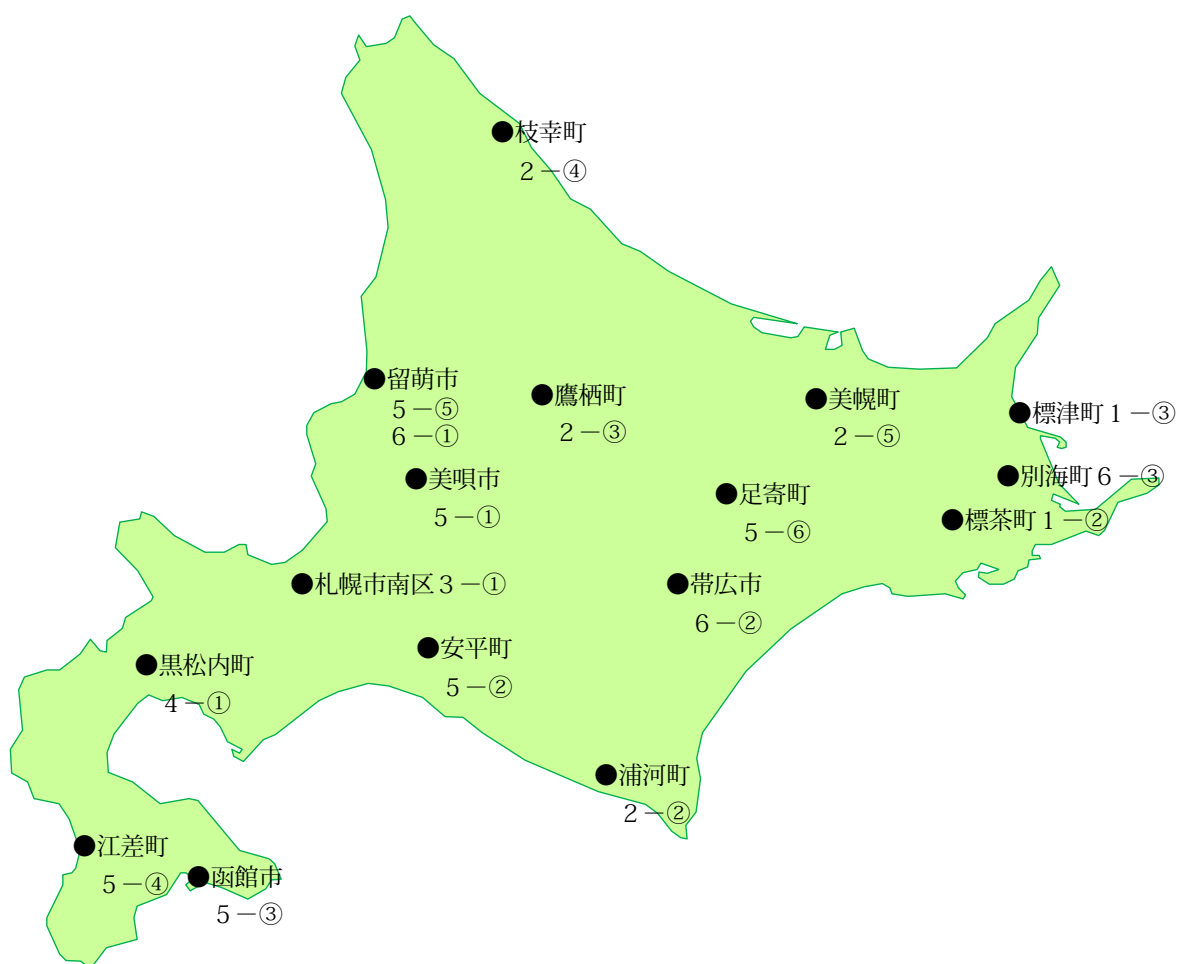
5 交通支援

- ① 「まちなか元気バス」
【ショッピングセンターアビハイ】（空知総合振興局管内美瑛市）・・・ 11

- ② 「安平町デマンドバス」 【安平町】（胆振総合振興局管内）・・・ 12
- ③ 買い物送迎
【地域支援グループくりの木】（渡島総合振興局管内函館市）・・・ 13
- ④ 「無料循環買い物バス」 【江差町】（檜山振興局管内）・・・ 14
- ⑤ 買い物送迎及び宅送
【留萌市神社下商店街振興組合】（留萌振興局管内）・・・ 15
- ⑥ 「あしバス」 【足寄町】（十勝総合振興局管内）・・・ 16

6 流通対策

- ① 地域での書店開設と書籍流通
【（株）三省堂書店】（留萌振興局管内留萌市）・・・ 17
- ② 地域への食料品流通
【帯広地方卸売市場】（十勝総合振興局管内）・・・ 18
- ③ 町内飲食店への地場食材の流通改善
【別海ジャンボグルメ地域活性化協議会】（根室振興局管内）・・・ 19



1 移動販売

① 「おまかせ便カケル」

☞ 道内大型店の取組(全道エリア)
【生活協同組合コープさっぽろ】※道との包括連携協定締結事業者

■ 取組の背景

ここ数年、買い物難民という言葉が生まれ、「近くに買い物できるお店がなくなった。」「車がない、交通の便が悪くなった。」「買い物にでかけるのが大変。」など、買い物が困難になった方が増えてきていました。

■ 取組の概要

全道の買い物が困難な方をサポートするために、移動販売事業を「おまかせ便」の名称で立ち上げ、地方を中心に食料品など生活必需品をお届けする移動スーパーとして、過疎化や高齢化で買い物が困難な方の暮らしを支えています。(2015年1月6日現在73台)

移動販売車は、大きな手すり、滑りにくい床材を使用した低床トラックで、格納式のステップで乗り降りが楽な寒冷地仕様の専用車を使用しています。



■ 取組のポイント

コープさっぽろの組合員の方なら、どなたでも利用が可能で、各地域へは、毎週決まった曜日に同じコースを同じ時間で回り、停車位置に到着後、音楽を流してお知らせしています。

拠点となるコープさっぽろのお店から、商品を積み鮮魚・精肉から野菜・果物・惣菜・食品・飲料や日用品まで約1,000品目の商品を品揃えしています。



■ 今後の展開

現在、道内111市町村とコープさっぽろの個別配送事業を活用した高齢者の見守りサービスの協定を結んでおり、移動販売事業についても、引続き、販売地域を拡大し、過疎化や高齢化で買い物が困難な方の暮らしを支えていきます。

◆生活協同組合コープさっぽろ 店舗本部移動販売車事業部

【所在地】 〒063-0831 札幌市西区発寒11条5丁目10-1

【連絡先】 TEL 011-671-5710 FAX 011-671-5752

【HP】 <http://www.coop-sapporo.or.jp/contents/view/id/188>

1 移動販売

② 「出前商店街」

☞ 町と商工会など地域関係者が連携した取組

【標茶町商工会】

■ 取組の背景

人口約 8,000 人の標茶町。実施地の塘路地区は、中心市街から釧路方面へ 22 km に立地、標茶町と釧路市の間位置し、世帯数 154、人口 285 人が暮らす地区。高齢化率も高く、1 人暮らしの高齢者が多数在住しているにも拘わらず、平成 14 年以降、商店が無い状況下であり、日常生活に支障が出てきました。

このような状況を改善すべく、地域住民の要望や標茶町のご支援の下、平成 22 年 10 月より、本事業を実施する事となりました。

■ 取組の概要

標茶町商工会が中心となって、平成 22 年度から国の補助金等を活用し、塘路地区（塘路公民館）で定期的に地域活性化事業として出前商店街を開催。（平均来場者数約 25 名）

参加登録している加盟店は、11 店、極限られた地区で利用者が少数であるものの「お客様に必要とされるお店になる事が今後の商店街の生き残り策である」と考え、商行為だけでなく社会貢献的側面からも積極的に取り組み、地域住民、とりわけ日常社会的参画の少ない高齢者がお互いの情報交換、安否確認など地域コミュニティの場としても役立っています。



■ 取組のポイント

- ・本町の商店が月 3 回（第 1・4 水曜日、15 日）直接会場に商品を持ち寄り、対面販売を実施。（運営のためのスタッフ 1 名配置）
- ・参加商店：平均 8 店
- ・取扱商品：生鮮野菜、精肉、豆腐・牛乳等食品、事務用品、金物等。
- ・毎月 15 日には、同日開催される老人会に合わせ「出前商店街」のみ使用できる商品券が当たる抽選会を実施。
- ・売切れ商品等は後日、自宅に配達。
- ・高齢者対策として、重い荷物も気兼ねなく購入できるよう自宅から会場まで送迎・配達・御用聞きを無料で実施。

■ 今後の展開

本事業が生活支援として継続、定着してこられたのも標茶町のご協力と本事業趣旨に快く賛同していただいた出店者の方々のお蔭です。

当会としても本事業は、住民の暮らしを支える重要事業と位置付け、今後も行政との連携を図り、地域会（塘路振興会）のご意見を反映させながら、出店者の入替え・強化等、利便性の向上や会場に笑顔あふれる地域コミュニティの創造に努め、末永く継続していきたいと思えます。



◆ 標茶町商工会

【所在地】 〒088-2301 標茶町旭 2 丁目 5 □2 3

【連絡先】 TEL 015-485-2264 FAX 015-485-2073

【E-mail】 shokokai@sip.jp

1 移動販売

③ 「どこでもカウモン号」

☞ 町と商工会など地域関係者が連携した取組

【標津町商工会】

■ 取組の背景

標津町は、漁業と酪農が中心の町であり、車を持たない高齢者や近くに商店が少ない古多糠地区などの住民から買い物に不便を感じているとの声が上がっていました。

また、町内では、後継者不足による廃業などにより商店がなくなった地域もみられ、こうした地域の買い物弱者を救済する必要性がありました。

■ 取組の概要

平成22年から、標津町商工会が町からの業務を受託し、町内の商店と連携を図り、中心市街地や茶志骨地区など6地区を回る移動販売車「どこでもカウモン号」の運行を開始しました。

当時、商工会が移動販売を実施するのは、道内では初めてのことでした。

移動販売車で取り扱っている商品は生鮮食料品や生活雑貨など、200品目以上となっています。



■ 取組のポイント

商工会では、この事業を始めるため、専門販売員を配置しています。

商工会会員16業者が扱う商品を、専門販売員が集荷し、「どこでも行きます。止まります。」をキャッチフレーズに、アニメのテーマソングを流しながら、各地区を巡回し、販売しています。

- ・販売日 月曜日から金曜日
- ・各地区週2回巡回

■ 今後の展開

酪農家が多い土地柄から「牛の世話で手が離せない。自宅前で購入できる移動販売車をこれからも活用したい。」また、高齢者からも、「とても便利でいつも助かっています。」など利用者から好評を得ています。

今後は、社会福祉協議会などの団体などとの連携も図りながら、独居老人への声掛け運動の展開、また、商工会の経済活性化対策の一環として取扱商品の充実などに力を入れるなど、利用者の満足度向上にもつなげていきたいと考えています。



◆標津町商工会

【所在地】〒086-1633 標津町北3条西1丁目1 □4

【連絡先】TEL 0153-82-2333 FAX 0153-82-3381

【E-mail】shibesho@bz04.plala.or.jp

2 宅 配

① 「セブンミール」

☞ 道内コンビニエンスストアの取組(7-11 店舗周辺)
【(株) セブン-イレブン・ジャパン】※道との包括連携協定締結事業者

■ 取組の背景

日々のお買物にお困りの方々への支援は高齢化社会における喫緊の課題であり、とりわけ地域における小売事業者の立場から、こうしたお客様のお買物や食生活をサポートすることにおいて、「近くて便利」を標榜するセブン-イレブンが果たすべき役割は大きいと認識しています。



■ 取組の概要

毎日のお食事の準備に不便を感じている方や、健康に配慮した食事をしたいと思われる方へ、事前にお届けするカタログからご注文いただくことで、品質や味にこだわった商品を提供するセブン-イレブンのオリジナルサービスです。商品のお受取りは、セブン-イレブン店舗での受け取り、もしくは宅配での受け取りをお選びいただけます。

(2014年12月1日現在道内694店舗でサービスを実施)

※一部店舗では実施していません。

■ 取組のポイント

日替り弁当やお惣菜セットなど、セブンミール専用メニューが用意されています。

セブンミール取り扱い商品以外にも、セブン-イレブンの店頭で販売しているお米、野菜、デザート、飲み物の他にも、セブンプレミアムやセブンゴールドも注文できます。

入会金、年会費は無料。(会員登録が必要)

注文後、翌日のお届け、1日分から注文可能で、税込み500円で送料が無料になります。

○注文方法

インターネット、電話、店頭

○注文締め切り

受取日の前日午前10時30分まで

○支払い方法

【宅配】

- ・振込票で支払い
- ・指定の金融機関からの引落し
(1ヶ月分まとめた支払い)

【お店受け取り】

- ・代引き引換え。

※注文方法等は店舗によって異なります。

※お届け範囲は実施店舗周辺エリアとなります。

■ 今後の展開

セブンミールを中心としたお届けサービスの際に行政機関や福祉施設と連携した高齢者等の見守り活動への対応も進めており、これからも地域に密着したサービスを通じ、地域の安全・安心の取り組みや、お客様の利便性の向上と周辺地域の活性化に、より一層貢献していきます。

◆株式会社セブン-イレブン・ジャパン札幌地区事務所 (担当:総務担当 安部)

【所在地】 〒060-0042 札幌市中央区大通西7-1-1 井門パークフロントビル11階

【連絡先】 TEL 011-231-0027 FAX 011-231-0098

【E-mail】 abe-kiminari@sej.7andi.co.jp

【HP】 <http://www.sej.co.jp/>

② 「おなじみ屋」

☞ 町と地元商店など地域の協議会が主体となった取組
【浦河町中心市街地活性化協議会】

■ 取組の背景

町内の大通地区では、平成19年にスーパーが撤退、平成24年にコンビニエンスストアが閉店し、車を持っていない高齢者から大変困っているとの声が上がっていました。

■ 取組の概要

町内の大通地区の活性化を検討している「浦河町中心市街地活性化協議会」が、平成24年9月から商品を電話や来店により注文されたものを無料で配達する「おなじみ屋」を開始しました。



■ 取組のポイント

チラシに掲載されている参加5店舗の商品リストから必要なものを直接電話で申し込みしてもらいます。

注文の際に、金額や配達時間を確認し、自宅まで配達したときに商品と引き換えに代金を回収します。

- ・配達地域：昌平町、大通1～5、潮見町、浜町、常盤町、旭町、入船町
- ・申し込み受付時間：午前10時から12時（日曜日は定休日）
- ・配達：受付日の午後（原則当日配送だが、混み具合やお店の都合により変更あり）

■ 今後の取組

参加店舗を増やし、各店舗の商品とりまとめ及び注文の一括窓口となる「おなじみ屋ステーション」を設置する予定としています。

大通地区買物弱者対策事業

配達地域：昌平町・大通1～5・潮見町・浜町・常盤町・旭町・入船町

おなじみ屋

オープン!!

おなじみ屋とは…？
 大通地区から、一軒軒地帯がなくなり、特に高齢者の方から大変困っているとの声が上がっています。このため、後援や協賛店に委託して配達サービスを実施することになりました。各店の商品や価格がバラバラなため、おなじみ屋という名称で統一してサービスを行います。各店の商品や価格を載せておきますので、お電話にて必要なおなじみ屋の商品を、ご注文ください。

店舗名	品名	電話番号
エートと平井内 帆田商店	<ul style="list-style-type: none"> ○お刺身類（店主自製の厳選されたお肉です） ○お惣菜各種 ○惣菜（漬物用・しゃぶしゃぶ用・豚丼用等） ○日当食品（各種調味料・豆腐・玉子・こんにゃく・カレー粉等） ○冷凍食品（ハンバーグ・つくお・豆腐ハンバーグ・ぎょうざ等） ○餃子・アイス ○たばこ・洗剤 	22-2334
野畑商店	<ul style="list-style-type: none"> ○酒類（ビール・おリム・日本酒） ○調味料（正油・食塩・砂糖・味の素・ハイミー・味噌） ○お菓子類・厚焼 ○ジュース類・インスタントコーヒー ○お茶 ○洗剤類・ラップ・ホイル・ティッシュ類 	22-2741
赤沢鮮魚店	○地物鮮魚	22-2005
池田鮮魚店	<ul style="list-style-type: none"> ○鮮魚（地物中心） ○干物（地物中心・オイラン・ホッケ他） ○おしお各種（まぐろ・白身・いか他） ○海産（干物）昆布・鰹昆布・あじの干・まつも・わかめ他 ○厚味（昆布の佃煮・鰹干ッパ・たら厚味・他） ○野菜・漬物 ○三温水産製品（新巻・いくら・筋子・さけ切身他） 	22-2619
ショッピングセンター 三才	<ul style="list-style-type: none"> ○キャンドゥ 浦河店 ○飲料品・ジュース類・お菓子各種・お惣菜・調味料類 	22-7555 (三才事務局)

注文方法

各店舗の商品リストから必要なものを直接電話で申し込みます。その際に、金額や配達時間等の確認をし、ご自宅に配達します。代金はお店と引換えにいただきます。手数料などはかかりません。

○申込受付時間：午前10時～12時 ○配達：受付日の午後～ ○定休日：日曜日

※ 商品がなるべく早くご注文していただく事をお勧めいたします。

※ 当日配達いたしますが、混み具合やお店の都合によりご希望に添えないことがあり得る場合がございます。

発行：浦河町中心市街地活性化対策協議会（浦河商工会議所食料品部会（大通地区））
 問合せ先：浦河商工会議所（22-2366）・浦河町水産商工観光課（26-9014）

◆浦河町中心市街地活性化協議会（事務局：浦河町水産商工観光課）

【所在地】 〒057-8511 浦河郡浦河町築地1丁目3番1号
 【連絡先】 TEL 0146-26-9014 FAX 0146-22-1240
 【E-mail】 suisho@town.urakawa.hokkaido.jp

③ 「買い物支援事業」

☞ 町と社会福祉協議会など地域関係者が連携した取組

【鷹栖町】

■ 取組の背景

平成25年3月に実施した住民アンケートの中で、買い物に対する不安が顕著に現れた。平成26年3月には、町内中心部の鷹栖地区で唯一のスーパーが建物の老朽化や消費税増税によるレジの更新が難しいとして閉店するなど、町民には車の運転が出来なくなったらこの町には住み続けられないという悲壮感が漂い始めました。

町民の買い物に対する不安を解消すること、そして高齢者世帯への商品宅配サービスを行っていた店舗の閉店に伴う、新たな「買い物難民」を急増させないために、住民同士の助け合い・支え合いによって買い物問題を解決すべく、地域福祉活動に特化し住民運動に精通している町社会福祉協議会に事業を委託しています。



■ 取組のポイント

お店まで行けない、重たいものを持ってない、息子や娘、同居人などに買い物を頼めない（頼みづらい）など、買い物に困っている方全てを対象に実施。鷹栖町と町社会福祉協議会は、平成26年4月に買い物支援センターを立ち上げ、買い物に関する相談からコーディネートまで全てを集約。「御用聴きサポーター」が利用

者宅を訪問し注文を聞き取り、地元の商店が商品の配達を行う「買い物支援事業」を開始しています。（2014年12月1日現在、町内4店舗でサービスを実施中）



■ 取組の内容

町内のスーパー4店が作成した取り扱い商品のカタログの中から、「御用聴きサポーター」が自家用車で利用登録世帯を訪問し、購入したい商品を聞き取る。注文は、町社協が開設した「買い物支援センター」が各店舗に伝え、1週間以内に無料で配達する。注文は、飲み物や野菜などが多く、総菜や菓子パンなどの品揃えが喜ばれており、また、サポーターによる戸別訪問は、高齢者などの安否確認や話相手を務める役割も担っています。

対象者：日常の買い物に困っている人

受付時間：月・水・金 8:30~12:00

利用料：無料

■ 今後の展開

地元商店の利用促進や、ボランティア活動を通じた住民同士の新たな交流にも結びついており、今後とも利用高齢者等を増やし、買い物に困っている人が少しでも減るよう取り組んでいきます。

◆鷹栖町健康福祉課

【所在地】 〒071-1292 上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号

【連絡先】 TEL 0166-87-2112 FAX 0166-87-2226

【E-mail】 hukusi@town.takasu.hokkaido.jp

④ 「宅愛サービスふれあい便の会」

☞ 商工会と地元企業など地域関係者が連携した取組

【枝幸町商工会】

■ 取組の背景

枝幸町の市街地の中心部における人口減少に伴って、空地や商店街の空き店舗が増加しており、中心市街地の空洞化が懸念されている一方で大型店舗の進出に伴う商業地の再編成等の課題を抱えていた中、町内に住んでいる高齢者や障がい者に地元商工業者ならできるサービスの提供をと考え、「宅愛サービスふれあい便の会」を平成17年4月に設立。

事業に備え、平成16年には高齢者や障がい者にやさしく対応するため、訪問介護員が行う業務に関する基礎的な知識を習得するための研修会を実施。商工業者の参加者13名がホームヘルパー3級を取得しました。

■ 取組の概要

会員登録を行った高齢者や障がい等に対して、ふれあいとやさしいサービス事業を提供し、地域生活の利便性や福祉の向上を図ることを目的とした趣旨に賛同した参加企業が商品の宅配サービスや住まいのサポート等を行っています。

■ 取組のポイント

登録会員からの電話又はFAXによる商品やサービスの注文を枝幸町商工会が窓口となり受け付けた後、参加企業に取り次ぎ、商品を自宅に届ける等のサービスを実施しています。

【サービス内容】

- ・屋根の雪下ろし
- ・草刈り

- ・カーテンレール設置
- ・代筆
- ・食料品配達 など

～枝幸町商工会・生活にやさしい支援～
宅愛サービス
ふれあい便の会

【会員募集】 **簡単** 電話かファックス1本で商品、サービスが自宅に届きます。

入会無料! **便利** お得な情報が定期的に届きます。

◆応募要領◆
 会員の皆様と参加事業所がふれあい、快適な生活をしていただくことを目的とする、おもいやりとやさしさのある「無料配達」「住まいの何でも相談」の事業です。

《会員資格》
 ● 年令65歳以上の方
 ● 身体の不自由な方

◆申込方法◆
 商工会又はお近くの参加店へご連絡下さい。

◆例え
 ☆ 屋根の雪下ろし
 ☆ 草刈り
 ☆ 木の枝処理
 ☆ トイレのタンク清掃
 ☆ カーテンレール設置
 ☆ 代筆
 ☆ 食料品配達 他

こんなご利用も!

～連絡先～
 枝幸町商工会
 宅愛サービス ふれあい便の会
 ◆電話 62-1262
 ◆FAX 62-1263

参加企業一覧を見て、直接ふれあい便の会にご連絡ください。
 参加企業で行っていないサービスについてもお気軽にご相談下さい。

■ 今後の展開

今後の高齢化の進展で、利用者が増加されることが予想されることから、町や関係団体の支援や協力を受けながら、支援・サービスの明確化、利用希望者の把握に努めるとともに、利用者の確保に向けて、引き続き広報等で周知を行い、利用会員の増加を図ります。

◆枝幸町商工会

【所在地】 〒098-5807 枝幸町本町590番地1

【連絡先】 TEL 0163-62-1262 FAX 0163-62-1263

【E-mail】 esashi11@rose.ocn.ne.jp

2 宅 配

⑤ 「スマッピー宅配・便利サービス」

☞ 町や社会福祉協議会、商工会議所など地域関係者が連携した取組
【合同会社びほろ宅配・便利サービスプロジェクト】

■ 取組の背景

車を持たない高齢者や近くに商店が少ない地区から買い物に不便を感じているとの声が上がっていたことから、美幌町、美幌町社会福祉協議会、美幌商工会議所などの関係機関で構成する高齢者等買い物支援協議会を平成23年10月に設置し検討を重ね、平成24年11月に、商工会議所が中心となって、町内の加盟店の商品等を代行して宅配するサービスを開始。より一層、取組を強化するため、平成26年7月に法人化しました。

■ 取組の概要

高齢者や障がい者など普段の買い物に不自由を感じている方からの注文を受け、スタッフが町内の商店から商品を取り寄せ、自宅まで配達を行っています。

現在は、宅配サービスとともに香典のお届け代行や重い荷物を運ぶサポートなどの便利サービスのほかパンなどの食料品を中心とした移動販売にも取り組んでおり、併せて一人暮らしをしている高齢の方の安否確認など見守りも行っています。



■ 取組のポイント

会員に対し、スタッフが参加商店から商品を取り寄せ、自宅まで配達。

- ・利用するには会員登録が必要（無料）。
- ・毎週月～金曜日の宅配
- ・参加商店：（協）スマッピーカードびほろ加盟店、美幌町連合商店会加盟店 5 5店
- ・取扱商品：食品、衣料品、医薬品、花など
- ・代金：商品代金のほか手数料として1回100円（郊外は200円）
- ・スマッピーカードでの支払いも可。
- ・便利サービスの実施（御用聞き）
- ・移動販売の実施（食料品中心）



■ 今後の展開

地域の高齢化が進む中、こういったサービスの需要や必要性は、これからどんどん高まっていきます。

今後も、会員の皆様の多様なニーズに応じた、他にはないきめ細やかなサービスが展開できるよう努めていくほか、この取組みがもっと地域に浸透し根付くよう積極的にPRして参ります。

◆合同会社びほろ宅配・便利サービスプロジェクト

【所在地】 〒092-0004 美幌町字仲町1丁目 美幌商工会議所内
【連絡先】 TEL 0152-73-1227 FAX 0152-73-1228
【E-mail】 bhorocci@flute.ocn.ne.jp

3 朝 市

① 「いしやま朝市」

☞ 商店街やまちづくりセンターなど地域関係者が連携した取組
【いしやま朝市実行委員会】(札幌市南区)

■ 取組の背景

約1万1,000人が暮らす札幌市南区の石山地区であるが、平成14年に地場のスーパーが閉店し、平成16年に開かれた「新石山まちづくりワークショップ」で、住民から「豆腐一丁も買えないマチ」という声が上がりました。

かつてはにぎやかだった商店街も、店が徐々に減っていた中、「なんとかしたい」と思っていたところ、5人の方の協力が得られ平成16年8月から朝市をスタートしました。

■ 取組の概要

朝市は、石山商店街振興組合を中心に設立した「いしやま朝市実行委員会」が、ボランティアや地域の方々の協力を受け運営しています。

多くの方が朝市を訪れてくれて、毎回100人以上の買い物客でにぎわっており、出店も当初の6店から、時期にもよるが約15店まで増えています。

朝市の中でちょっと一休みできる場所として開設した「喫茶コーナー」は、交流の場として定着しており、買い物だけではなく、ここでおしゃべりすることが楽しくて訪れる方もたくさんいます。



■ 取組のポイント

商店街の中央に位置する石山振興会館で、近郊農家の新鮮野菜、採りたて茸・山菜、揚げたてコロッケ、こだわりのパンなどを販売しています。(冬期間も開催)

いつ朝市があるか覚えていない方もいるので、当日、ボランティアが区内を車で回り、拡声器で開催をお知らせしています。

○営業日：毎月第1・第3土曜日

○営業時間：9時～10時



■ 今後の展開

朝市に来る人にとっても、朝市に従事する人にとっても「買い物」だけではない、仲間に会える、誰かと声かけ合える大事な場所となっており、朝市が当初の「買い物支援」から「コミュニティづくり」へと変わりつつあります。

ここまで長続きできたのは、地域の方々、メンバーの協力があったことなので、これからのことも皆さんの意見を聞きながら考えていくとともに、取組を継続していく上で、さらに若い方の参加も募っていきたいと考えています。(ボランティアの方の平均年齢は60代後半から70代後半)

◆いしやま朝市実行委員会(石山地区まちづくり協議会まちおこし部会)
【所在地】〒005-0841 札幌市南区石山1条3丁目 石山振興会館
【連絡先】TEL 011-591-8639(石山商店街振興組合)
011-591-8734(石山まちづくりセンター)

4 買い物代行

① デジタルタッチペンを活用した買い物代行

👁️ 町とNPO法人など地域関係者が連携した取組

【黒松内町】

■ 取組の背景

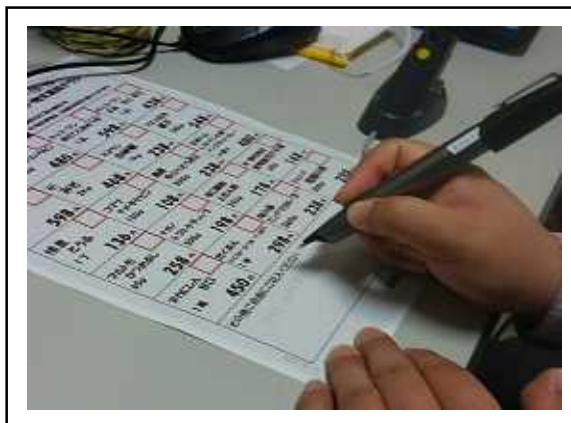
車を持っていない高齢者などは福祉バスを使って市街地に買い物に出ているが、冬期間や市街地から遠く離れている町民は買い物が不便な状況となっていました。

■ 取組の概要

NPO 法人ひまわりは、平成23年10月から通所者の方を受け入れ、就労継続支援B型事業所としての活動を黒松内町でスタートさせています。

障がい者の就労継続支援として、町内に住む独居高齢者や障がい者のいる世帯を中心に買い物を代行し、自宅に届ける事業に併せて、高齢者等の安否確認や見守りサービスを実施しています。

(町からの委託により実施)



■ 取組のポイント

【対象者】

町内に居住している方で、次のいずれかに該当する方

- ①概ね65歳以上の独居高齢者及び高齢者のみの世帯
- ②障がい者のいる世帯
- ③その他町長が必要と認めた世帯

【買い物支援の流れ】

- ①利用者が在宅にて、買い物専用紙にデジタルペンで購入希望商品を記入。
 - ②記入したデータが、インターネットでNPO ひまわり黒松内事業所へ送られる。
 - ③担当スタッフが、内容を確認し必要に応じて電話確認を行う。
 - ④担当スタッフが地域内の協力事業者で、購入希望商品を購入し配達する。
 - ⑤代金を回収し、協力事業者に支払いを行う。
- ※午前中の注文は夕方まで、午後からの注文は翌日配達。

■ 今後の展開

年々、利用者も増加しており、高齢者等の買い物支援に加え、安否確認や見守りサービスが地域にとって重要となっていることから、今後も事業を継続して実施していく予定としています。

◆黒松内町保健福祉センター

【所在地】 〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 586

【連絡先】 TEL 0145-22-2751

◆NPO法人ひまわり（ひまわり黒松内B-1）

【所在地】 〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 210

【連絡先】 TEL 0145-22-2751

① 「まちなか元気バス」

☞ 地元ショッピングセンターの取組

【ショッピングセンター コアビバイ】

■ 取組の背景

中心部のショッピングセンター「コアビバイ」では、平成22年年4月の「A コープいなほ店」の閉店によって、いなほ周辺で買い物に困っている住民が発生していることを聞き、何かよい方法がないか考えた結果、無料シャトルバス（まちなか元気バス）を運行させることを決めました。

■ 取組の概要

平成22年6月19日から、毎週土曜日に近隣のスーパーが閉店した「条丁西北地区・稲穂方面」と土曜日にバスの本数も少ない「条丁西南地区・進徳方面」の2コースに、各2便の無料シャトルバスの運行を始めました。

運行を毎週土曜日に設定したのは、銀行などが休みの日であれば、乗客はほぼコアビバイの買い物客であると特定できることも理由の一つとなっています。

■ 取組のポイント

無料シャトルバスの運行は、市内の美自校観光バスに委託しており、バスの運行コースには、既存の停留所がなく、新たに設置するには運輸局の許可が必要となり、手間とコストがかかることや利用者の利便性も考慮して停留所を設けずに、挙手制で乗降できるようにしています。

■ 今後の展開

地元小売業者が建設したコアビバイは、農業協同組合のスーパーをはじめとして、薬局や衣料品、メガネ店、CD ショップや本屋など18のテナントが入居し、市民ふれあいサロンなどのスペースも設置している総合ショッピングセンターであり、現在では、毎回50人近くが無料シャトルバスを利用しており、買い物弱者支援という目的のほかに、客離れ防止にもつながることから、引き続き、無料シャトルバスの運行を続けていきたいと考えています。

◆◆◆まちなか元気バス(無料シャトルバス)試行運転のご案内◆◆◆

この度、中心市街地活性化を目的として原則毎月1日及び毎週土曜日に「まちなか元気バス」を運行することといたしました。まちなか活性化のためにも市民の皆様どうぞお気軽に御利用下さいませ。

お客様へ

この度、まちなか元気バスに2つの特典が誕生しました。
(H26 10月1日より)

①ポイントカード誕生

まちなか元気バス1回のご乗車にて1ポイント、5回ポイントで200円の美自校バスまたは、有印の乗車券を差し上げます。ポイントカードはまちなか元気バス内もしくは、セシルらチャムにて買って下さい。



②オレミヤム回数券誕生

コアビバイのマミーお買物券500円にて美自校バスまたは市バス200円券を3枚差し上げます。

※期間限定 セシルらチャムにてコアビバイ内(まくじ売場)

条丁目西北地区・稲穂方面コアビバイ行き							
コアビバイ	西3条北5/6丁目 始発	西2/北6/7丁目	西3条北7丁目	西4条北7丁目	西4条北6/7丁目	IBAコープ稲穂店	コアビバイ着
到着便	9時40分	9時42分	9時43分	9時44分	9時46分	9時48分	9時50分
	11時10分	11時12分	11時13分	11時14分	11時15分	11時16分	11時22分
稲穂方面							
帰宅便	コアビバイ発	西3条北5/6丁目	西2/北6/7丁目	西3条北7丁目	西4条北7丁目	西4条北6/7丁目	IBAコープ稲穂店
	11時00分	11時02分	11時04分	11時05分	11時06分	11時08分	11時10分
	13時00分	13時02分	13時04分	13時05分	13時06分	13時06分	13時08分

条丁目西南地区・進徳方面コアビバイ行き									
コアビバイ	進徳東団地 要精通り 始発	進徳東団地	伊藤工務店付近 ~国道12号	進徳集会所	進徳団地東通り ~国道12号	西2条南6/7丁目	西3条南6丁目	西3条南5丁目	コアビバイ着
到着便	10時00分	10時01分	10時02分	10時05分	10時06分	10時08分	10時09分	10時10分	10時12分
	11時45分	11時46分	11時47分	11時50分	11時51分	11時53分	11時54分	11時55分	11時56分
進徳方面									
帰宅便	コアビバイ発	西3条南5丁目	西3条南6丁目	西2条南6/7丁目	進徳団地東通り ~国道12号	進徳集会所	IBAコープ稲穂店	伊藤工務店付近 ~国道12号	進徳東団地
	11時30分	11時31分	11時32分	11時33分	11時35分	11時36分	11時39分	11時40分	11時41分
	13時30分	13時31分	13時32分	13時33分	13時35分	13時36分	13時39分	13時40分	13時41分

自由乗降 ※自由乗降ですので停留所はありません。(美自校バス)まちなか元気バスと表示したバスが通りましたら手を上げてお知らせ下さい。バスは、停まります。※毎週土曜日の無料シャトルバスは従来通りとなります。

◆協同組合コアびばい

【所在地】 〒072-0025 美唄市西2条南2丁目5-1

【連絡先】 TEL 0126-62-6711 FAX 0126-64-4290

② 「安平町デマンドバス」

☞ 町や商工会、交通事業者など地域関係者が連携した取組

【安平町】

■ 取組の背景

人口約8,500人の安平町では、民間事業者の路線バスと町による無料巡回バスが運行されていましたが、利用人数が少なく運行効率も悪い状況となっていました。

そうした中、住民の交通利便性の確保、町内交通事業者が共存できる交通体系の構築という課題解決のため、また長期的には街中活性化に繋げていくために、「安平町デマンドバス」は商工会が主体となって平成25年4月より本格運行を開始しました。



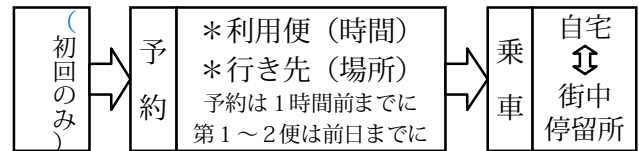
■ 取組の概要

町内地域交通体系のひとつとして、従来の路線バスの特徴である定時・定路線型から、利用者の自宅と街中をつなぐサービスを提供することが可能となった「安平町デマンドバス」を追分・安平・早来・遠浅の4市街地へ各10便運行しています。保護者からの予約があれば小学生の単独乗車もできます。

(安平町商工会が事業主体となり、ハイヤー会社2社に運行業務を委託、町は10人乗ワゴン車を無償貸与)

■ 取組のポイント

【デマンドバスの利用まで】



①利用者登録

本人を確認できるものを持参して、安平町商工会で手続きすると、登録証は即日交付されます。

②利用予約

希望便(時間)の1時間前までに電話予約する必要があります。始発便(第1便往路・第2便復路)を利用する場合は、前日(前営業日)までに予約が必要です。

③乗車

自宅からの乗車ですが、乗り合いバスのため、ご利用者の状況によりお迎え時間と目的地までの所要時間は変化します。

※デマンドバスを利用する高齢者や障がいのある方へ、運賃の一部を助成する「安平町地域公共交通助成制度」があります。

○運行日：月～金曜日

○運休日：土、日、祝日、年末年始

○利用運賃：大人(中学生以上)300円、
小人(小学生)150円

○受付時間：平日(運行日に同じ)
8:00～17:00

■ 今後の展開

引き続きデマンドバスを運行し、住民の方々の交通利便性を確保するとともに、高齢者の外出促進や買い物等による街中にぎわいづくりを推進していきます。

◆安平町企画財政課企画グループ

【所在地】 〒059-1595 勇払郡安平町早来大町95番地

【連絡先】 TEL 0145-22-2751

③ 買い物送迎

👁️ 地域ボランティア団体の取組
【地域支援グループくりの木】(函館市)

■ 取組の背景

平成12年に発足したボランティア団体「地域支援グループくりの木」では、ミニデイサービス「お茶っこくらぶ」を開設していたが、利用者の半数が独居で、買い物に不便さを感じる人が増えたため、何かお手伝いできることはないかとスタッフで話し合い、平成26年9月から「お買い物サロン」を始めました。

■ 取組の概要

「お買い物サロン」は、毎週水曜日にボランティアが利用者の自宅に迎えに行き、地域の会館に集まりお茶と会話を楽しんだ後、利用者のニーズに合わせてスーパー等で買い物をするもの。買い物後は、荷物と一緒に自宅まで送り届けます。

■ 取組のポイント

自分で買い物や支払いが可能だが、出かけるのに不自由を感じている人が対象です。

○開催日：毎週水曜日 10時～12時

○利用料：300円(おやつ・保険代)

○スケジュール

9時半頃 ご自宅にお迎え

10時 石川町会館でお茶とおしゃべり

11時 スーパー等で買い物

12時 ご自宅に送る

○送迎範囲：石川、赤川、美原、北美原、富岡、昭和、亀田本町と桔梗の一部。

■ 今後の取組

買い物だけでなく、普段一人である高齢者が外に出て、刺激を受けてもらうことが大事だと考えています。

現在は送迎範囲が限られているので、今後は範囲を広げ、他の地域でも買い物に困っている人のお役に立てるよう活動していきたいと考えています。



◆地域支援グループくりの木 (担当：事務局 棟方)

【所在地】 〒040-0021 函館市的場町6-23

【連絡先】 TEL 0138-30-8080 FAX 0138-30-8081
090-4872-6868 (棟方)

【E-mail】 goryonohoshi@ybb.ne.jp

5 交通支援

④ 「無料循環買い物バス」

👉 町と商工会など地域関係者が連携した取組

【江差町】

■ 取組の背景

平成21年に町内のスーパーが撤退し、移動手段を持たない高齢者等から大変困っているとの声が上がっており、近年は、市街地郊外における大型店の出店により、中心市街地の小売店は厳しい経営環境におかれていました。

■ 取組の概要

高齢者等利便性の確保と市街地往來を活性化させ、賑わいのある商店街づくりを目的に、平成20年より、無料の買い物バスを運行しており、1日30～50人ほどの利用があります。



(利用者の声)

- ・「ありがたい」「助かる」という声は当初から言われ続けている。
- ・利用者には、買い物などに一人で行けると喜ばれている。
- ・重い買い物袋をもって離れたバス停まで歩かなくて良いから便利。

お買物無料循環バス運行



26年4月8日(木)より運行
運行時間・運行経路が変更になります。
火曜日・金曜日に運行
(土・日・祝日は運休させていただきます)

地場商品が沢山ある地元商店のご利用を!!
(地元開発商品もあります!!)

バス時刻表

◆問合せ先 江差商工会 ☎52-0531

バス	時刻	バス	時刻
新地・旧南高校方面行			
新地	9:25	新地	10:12
川	9:29	川	10:13
江	9:30	江	10:14
橋	9:31	橋	10:15
五	9:33	五	10:16
新	9:34	新	10:17
山	9:36	山	10:18
山	9:38	山	10:19
山	9:41	山	10:22
山	9:42	山	10:24
山	9:43	山	10:27
山	9:44	山	10:28
山	9:45	山	10:29
山	9:46	山	10:30
山	9:47	山	10:31
山	9:48	山	10:33
山	9:49	山	10:35
山	9:50	山	10:36
山	9:52	山	10:39
山	9:55	山	10:41
山	9:56	山	10:42
山	9:57	山	10:44
山	9:58	山	10:45
山	9:59	山	10:46
山	10:00	山	10:48
山	10:01	山	10:50
山	10:02	山	10:51
新地・般川方面行			
般	10:12	般	11:05
川	10:13	川	11:06
田	10:14	田	11:07
田	10:15	田	11:08
田	10:16	田	11:09
田	10:17	田	11:10
田	10:18	田	11:11
田	10:19	田	11:12
田	10:22	田	11:13
田	10:24	田	11:14
田	10:27	田	11:15
田	10:28	田	11:16
田	10:29	田	11:17
田	10:30	田	11:18
田	10:31	田	11:19
田	10:33	田	11:20
田	10:35	田	11:21



■ 取組のポイント

週に2回(平日)1日1便、江差町の中心市街地を巡る無料循環買い物バスを運行。

(江差商工会に委託)

- ・運行期間：4月～翌年3月末

■ 今後の取組

高齢化が進むなか、移動手段を持たない高齢者の生活利便性を確保するとともに、利用者の要望にも配慮し、利用促進を図っていきます。

◆江差町追分商工観光課商工労働係

【所在地】 〒043-8560 江差町字中歌町193番地の1

【連絡先】 TEL 0139-52-6716 FAX 0139-52-5666

⑤ 買い物送迎及び宅送

☞ 商店街が中心となった取組

【留萌市神社下商店街振興組合】

■ 取組の背景

中心市街地から離れた高台地区や沖見団地地区では、スーパーが閉店し、移動手段を持たない高齢者にとっては、食料品や身の回りの購入に当たって、市街地への路線バスの便数が少ない上、移動時間も長いことから、大変不便な状況のほか、共同購入や宅配事業を利用する住民が多くなり、商店街の利用者が減少していました。



■ 取組の概要

神社下商店街が中心となり、買い物だけでなく、商店街を散策し、更なる購買意欲の喚起を高めることを目的に、商店街に所在する(株)中央スーパーの小型移動車両を使用し、商店街店舗への送迎を行うとともに、購入した商品については、市内一円を対象とした宅送サービスを行っています。なお、商店街各個店からは、商品1点につき、100円の負担金を得て実施しています。

■ 取組のポイント

- 利用者は、会費 1,000 円で会員登録を行うとともに、商店街で利用できるお買い物券を発行、受け取り。
- 利用者は、前日までに予約
- 利用者を商店街に送迎。
運行日：月～金曜日の午前及び午後 2 便
- 利用者が購入した商品については、(株)中央スーパーが一括して配送。

■ 今後の展開

今後、さらなる需要喚起と個店のサービス向上やニーズの把握に努め、高齢者を中心とした顧客層の拡大を図り、商店街各個店の売り上げ増強につなげていきます。



◆留萌市神社下商店街振興組合

【所在地】 〒077-0042 留萌市開運町3丁目4番8号

【連絡先】 TEL 0164-42-0675 FAX 0164-42-0675

⑥ 「あしバス」

☞ 町とタクシー会社など地域関係者が連携した取組

【足寄町】

■ 取組の背景

広大な行政面積を有する足寄町は、山間部に住家が点在しており、山間部に居住する町民の通院や買い物などに対応するため、へき地患者輸送車を運行していますが、市街地内における公共交通は、町を南北に縦貫する地域間幹線系統の民間バスの運行のみとなっていました。

高齢化が進展する中、市街地に居住する高齢者や障がい者、また、へき地患者輸送車を利用する高齢者など、特に自由な移動手段を持たない町民にとって、通院や買い物は地域生活を送るうえで欠かせないものであり、市街地内における「交通の確保」は、大きな課題となっていました。

■ 取組の概要

このような状況を踏まえ、市街地における移動の充実を図るため、全町民を対象としたアンケート調査や、交通事業者等の関係者や医療機関への聞き取り調査を実施し、平成25年9月と平成26年2月の2ヶ月間にわたり、市街地循環型コミュニティバスの実証実験運行を行いました。

実証実験運行の結果や利用者アンケート調査の結果を受け、運行路線や運行時刻のさらなる改良を行い、平成26年10月1日、市街地コミュニティバス（通称：「あしバス」）として、本格運行を開始しました。

（市町村運営有償運送として足寄町が主体となり、14人乗りワゴン車を町内タクシー会社に貸与し、運行管理業務を委託。）

あしバスの利用は、多い日には50人となり、町民にとって欠かすことのできない交通として定着しています。

■ 取組のポイント

町内の医療機関や公共施設、商業施設、温泉等を循環する定時定路線のバスとして、3区間を一日5便運行しています。

1便 8:00～ 5便 ～17:20

○運行日：月～土曜日

○運休日：日曜日、祝日、年末年始

○運賃：1乗車につき100円

※ただし、65歳以上の方、未就学児童及び学生、生活保護受給者、身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳の交付を受けている方等は無料

■ あしバスの由来

町民に親しまれるコミュニティバスとなるようにと愛称を町民からの公募により決定しました。

「足」寄町民が「足」として利用するバスであることから、末永く町民も皆さんに親しまれ、町民の「足」となってほしいとの願いが込められています。

車体には北海道遺産で町の特産品「螺湾^{らわん}ブキ」とマスコットキャラクター「アユミちゃん」が描かれています。



◆足寄町総務課企画財政室

【所在地】 〒089-3797 足寄町北1条4丁目48番地1

【連絡先】 TEL 0156-25-2141 FAX 0156-25-9178

【E-mail】 kikaku@town.ashoro.hokkaido.jp

① 地域での書店開設と書籍流通

☞ 書店や振興局、市民など地域関係者が連携した取組

【(株)三省堂書店】

■ 取組の背景

平成22年12月に留萌市内で唯一の本屋が販売不振により閉店したことを契機に、翌年、市民グループ「三省堂書店を留萌に呼び隊」が結成され、留萌振興局や留萌市役所など関係機関との連携により誘致活動が展開されました。



■ 取組の概要

市民グループの熱意に応え、三省堂書店は人口が3万に満たない留萌市に「留萌ブックセンターby 三省堂書店」をオープンしました。

地方では、特に話題の新刊や人気のある本などを確保することが難しく、十分な品揃えのできない書店が多く見受けられますが、当店は、問屋からの仕入れに加え、三省堂書店札幌店から必要な本を必要な量だけ宅配便で配送することにより、豊富な種類の本を市民に提供することを可能にしています。

また、留萌出店を契機に、留萌振興局と包括連携協定を締結し、活力ある地域づくりや留萌

地域の情報発信に努め、地域と一体となった取組としてブックカバーによる留萌の食・観光の情報発信や絵本読み聞かせ会の開催などを行ってきています。

■ 取組のポイント

「留萌ブックセンターby 三省堂書店」

約10万冊の書籍のほか、文具やCD、DVDも扱っています。

- ・開店日 平成23年7月21日
- ・所在地 留萌市南町4丁目73-1
- ・営業時間 10:00~20:00

■ 今後の展開

市民グループがボランティアでこの書店を支えています。客を呼び込む様々なイベントの企画、実施をはじめ、雑誌に付録を挟む作業や紐を掛ける作業なども手伝っています。

今後も地域に密着した書店として数多くの本を提供していくとともに、市民と協力しながら地域の活性化に努めていきます。



◆株式会社三省堂書店（札幌店）

【所在地】 〒060-0005

札幌市中央区北5条西2丁目 札幌ステラプレイス5F

【連絡先】 TEL 011-209-5600 FAX 011-209-5601

【HP】 <http://www.books-sanseido.co.jp/index.html>

② 地域への食料品流通

☞ 地方卸売市場の取組

【帯広地方卸売市場】

■ 取組の背景

道民の消費生活を支える卸売業や小売業においては、近年、卸売業者の廃業や撤退によって地域小売店に商品が届きにくくなるという仕入れ環境の悪化が懸念されているところです。

■ 取組の概要

帯広地方卸売市場は十勝地域の唯一の総合卸売市場であり、食料品流通の拠点として大きな役割を果たしてきています。

そのなかで、遠隔地の買受人（小売店等）の利便性と地域への食料品の安定供給を確保するため、十勝管内の2カ所に「集配センター」を設置しています。

帯広の卸売市場から毎日集配センターに食料品を配送して地域小売店などへ卸しており、配送センターへ来ることのできない町外遠隔地等の小売店には配達も行っています。

このほかの取組として、小規模小売業者や外食業者などに対し、生鮮食料品や加工食品、包装資材などを小ロットで供給する「食品関連総合センター」を平成20年に設置し、卸売市場の活性化を図っています。



帯広地方卸売市場全景

■ 取組のポイント

「集配センター」について

【設置の経緯】

昭和44年に池田町の卸売業者から営業譲渡により池田町に開設。さらに平成13年に本別町の卸売市場が廃場されたことから本別町に開設。いずれも既存の施設は老朽化が進んでいたため新たに施設を整備しました。

【センターの概要】

- ・池田集配センター（昭和44年7月開設）
建物面積 435 m²、社員5名（パートを含む）、池田町内のほか浦幌町や豊頃町等のエリアもカバーしている。
- ・本別集配センター（平成13年2月開設）
建物面積 857 m²、社員5名（パートを含む）、本別町内のほか足寄町や陸別町、上士幌町等のエリアもカバーしている。



池田集配センター



本別集配センター

■ 今後の展開

集配センターは採算面での厳しさはありますが、地方卸売市場の使命として地域小売店等への安定した食料品供給のために今後とも継続させていく考えです。

◆帯広地方卸売市場 <開設者・卸売業者 帯広地方卸売市場株式会社>

【所在地】 〒080-2492 帯広市西21条北1丁目5番1号

【連絡先】 TEL 0155-37-3333 FAX 0155-37-2345

【E-mail】 info-soumu@obihirosijyo.co.jp

【HP】 <http://www.obihirosijyo.co.jp/>

③ 町内飲食店への地場食材の流通改善

☞ 水産加工業者など地域関係者が連携した取組

【別海ジャンボグルメ地域活性化協議会】

■ 取組の背景

別海町内の飲食店は、地場食材を使用した料理を提供していますが、一般の小売価格での食材の仕入れを余儀なくされています。町内の水産加工業は小ロットの卸売ニーズに対応していません。

このため、飲食店が地場食材を活用した商品開発をしても原価率が高く経営の安定化につながっておらず、食材の流通環境の改善が地域の課題となっていました。

■ 取組の概要

町内で小ロットの地場食材を安定的に流通させる事業者を確保し、飲食店の仕入れコストを改善します。

一方、飲食店では地場食材を活用して優れた商品開発を行うことにより、集客力を高め業態の維持を図ります。



■ 取組のポイント

飲食店の仕入れ拠点の確保に伴う流通の安定化に係る調査分析を行うとともに、安価な加工品の加工環境の確保に係る加工業の経営分析を実施しました。

その結果、水産加工品を強化することで経営が安定し、飲食店において仕入拠点の確保に至ることが判りました。

一方で、飲食店においては、流通を活性化させるための商品開発に取組み、消費者の反響も充分であり、流通改善効果が現れました。



■ 今後の展開

流通改善効果は獲得できたものの、そもそも別海町産食材は他産地より高いため商品開発においては、料理のビジュアルやストーリー、地域 PR 等により商品価値をどれだけ高められるかが消費者ニーズ獲得の最大の課題でありました。

町内の飲食店に限らず、都市部からの食材ニーズが高まっている一方で、食材のブランディングの取組成果や海外需要の高まりにより食材原価が高まっているため、流通事業者と飲食店の連携を強化し、更なる商品開発や既存商品の磨き上げに取組んでいきます。

◆別海ジャンボグルメ地域活性化協議会

【所在地】 〒086-0215 野付郡別海町尾岱沼港町 158

【連絡先】 TEL 0153-86-2121 FAX 0153-86-2772

【E-mail】 oosumi725@icloud.com

発行 平成27年 3月

編集 北海道経済部経営支援局

中小企業課商業グループ

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

電話：011-204-5341